

授業概要

子育て問題のもっとも身近な存在である保育現場の社会的役割と機能を理解し、保護者や地域住民に対する支援としての保育相談支援の意義や在り方、取り組みについて学ぶ。実際の相談場面において相談内容を詳細に捉え対応できる力を身につけることを目的とする。事例検討やロールプレイ、グループワークを通して、保育相談支援の具体的な方法について指導する。

授業計画

第1回	オリエンテーション・保育相談支援とは
第2回	現代の子育て問題
第3回	保護者の子育て不安
第4回	子どもの発達と保育現場のかかわり
第5回	保育者の専門性を生かした保育相談支援
第6回	専門家、専門機関との連携や協働
第7回	気になる子どもとその家庭への支援
第8回	気になる保護者への支援
第9回	虐待の現状と取り組み
第10回	地域の子育てに向けた支援
第11回	児童福祉施設における支援
第12回	保育相談に求められる姿勢と技法
第13回	保育相談支援のアセスメント
第14回	保育者の成長、研修
第15回	ロールプレイの創作、発表
第16回	筆記試験の実施

到達目標

1. 保育相談支援の意義、在り方について学ぶ
2. 保育相談支援の取り組みを理解する
3. 相談内容と対応方法について理解する
4. 相談における態度や方法、技能を習得する

履修上の注意

保育士資格取得希望者の必修科目である

予習復習

予習：事前にテキストの該当箇所を読んでくること、課題を課す場合もある
 復習：授業で扱った内容を振り返り、身の回りの子どもの生活や社会的な出来事に目を向けること

評価方法

期末試験（60%）、授業態度・参加意欲（40%）をもとに総合的に評価する

テキスト

福丸由佳・安藤智子・無藤隆 編著（2011）『保育相談支援：保育内容・方法を知る』
 授業時にレジュメを配布する。